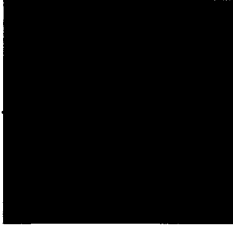


厚生労働大臣 殿

北海道大学病院長 浅香 正



北海道大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績
 

研修医の人数	153 人
--------	-------
- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
  - 別紙参照 (様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
  - 別紙参照 (様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	219人	222人	385.5人	看護業務補助	57人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	110人	30人	132.5人	理学療法士	10人	臨床 臨床検査技師	62人
薬 剤 師	38人	2人	39.5人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	3人	検査 その他	0人
助 産 師	31人	1人	31.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	600人	36人	627人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	2人	0人	2人	栄 養 士	0人	その他の技術員	7人
歯科衛生士	10人	0人	10人	歯科技工士	6人	事 務 職 員	144人
管理栄養士	7人	0人	7人	診療放射線技師	47人	その他の職員	27人

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	803人	22.2人	825.2人
1日当たり平均外来患者数	2,196.7人	661.3人	2,858人
1日当たり平均調剤数	1,174.6 剤		

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類 (医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨、頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析ならびに遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	0人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するCO <sub>2</sub> レーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	1人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類 (医科)	承認	取扱い患者数
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31燐-磁気共鳴 <sup>※</sup> 外ロスコ <sup>※</sup> と <sup>※</sup> との画像による糖尿病性足病変の非侵襲診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィリン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・腭腫瘍に対する腹腔鏡補助下腭切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗癌剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block (MAB) 治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いた癌ワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対する <sup>※</sup> レーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・無	人
・一絨毛性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人

高度先進医療の種類 (歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用によるう蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術 (PPH)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	<input checked="" type="radio"/> 有・無	21人
胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人口中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(様式第10)

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	317 人	・モヤモヤ病 (ウィリス動脈輪閉塞症)	116 人
・多発性硬化症	128 人	・ウェゲナー肉芽腫症	25 人
・重症筋無力症	91 人	・特発性拡張型 (うっ血型) 心筋症	93 人
・全身性エリテマトーデス	524 人	・多系統萎縮症	59 人
・スモン	1 人	・表皮水疱症 (接合部型及び栄養障害型)	13 人
・再生不良性貧血	109 人	・膿疱性乾癬	10 人
・サルコイドーシス	270 人	・広範脊柱管狭窄症	0 人
・筋萎縮性側索硬化症	13 人	・原発性胆汁性肝硬変	109 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	256 人	・重症急性膵炎	1 人
・特発性血小板減少性紫斑病	155 人	・特発性大腿骨頭壊死症	100 人
・結節性動脈周囲炎	48 人	・混合性結合組織病	42 人
・潰瘍性大腸炎	163 人	・原発性免疫不全症候群	44 人
・大動脈炎症候群	70 人	・特発性間質性肺炎	18 人
・ビュルガー病	47 人	・網膜色素変性症	38 人
・天疱瘡	69 人	・プリオン病	0 人
・脊髄小脳変性症	205 人	・原発性肺高血圧症	11 人
・クローン病	70 人	・神経繊維腫症	56 人
・難治性肝炎のうち劇症肝炎	15 人	・亜急性硬化性全脳炎	0 人
・悪性関節リウマチ	19 人	・バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	0 人
・パーキンソン病関連疾患	407 人	・特発性慢性肺血栓塞栓症 (肺高血圧型)	13 人
・アミロイドーシス	9 人	・ライヅ-ム病 (ファブリー [Fabry] 病を含む)	5 人
・後縦靭帯骨化症	122 人	・副腎白質ジストロフィ	0 人
・ハンチントン病	0 人		

3 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	血液レジデントカンファレンス (月に1回) 悪性リンパ腫合同カンファレンス (月に1回)
剖検の状況	剖検症例数 44 例 剖検率 11.9 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の病因、病態、病型別自然歴に関する統合的研究	西村正治	第一内科	5,600千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
ゲノム情報の臨床応用—遺伝子多型情報を用いた気管支喘息重症化の予測—	檜澤伸之	第一内科	1,500千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
3次元CTによる気腫・気道病変の評価と慢性閉塞性肺疾患病態解析への応用	西村正治	第一内科	1,400千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
タイプ1免疫活性化を介した肺癌治療に対する放射線治療の併用増強効果	山崎浩一	第一内科	1,900千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
肺上皮障害・再生におけるbasigin/EMPRINの役割とMMP誘導機序	別役智子	第一内科	700千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
呼吸不全に関する調査研究	西村正治	第一内科	2,000千円	① 科学研究費 (厚生労働省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
免疫アレルギー疾患予防・治療	西村正治	第一内科	3,500千円	① 科学研究費 (厚生労働省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
気管支喘息、アレルギー反応におけるオステオポンチンの意義	今野 哲	第一内科	2,100千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
肺の生体防御機構における加齢と喫煙の影響	長井 桂	第一内科	1,800千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
レーザーキャプチャーマイクロダイセクション (LCM) 法を用いたタバコ暴露モデルの病態解析試験No. 3亜急性暴露後の気道上皮細胞遺伝子発現に対するAgingの影響	西村正治	第一内科	3,700千円	① 科学研究費 ( ) ② 受託研究 ③ その他 ( )

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
日本人成人気管支喘息患者を対象として、ST160/4.5ug(1回1吸入、1回2吸入、または1回4吸入を1日2回)を投与した時の有効性及び安全性を検討する52週間投与、多施設共同、第Ⅲ相オープン試験	檜澤伸之	第一内科	1,813千円	1 科学研究費 ( ) ② 受託研究 3 その他 ( )
ON0-7436第Ⅱ相試験癌化学療法誘発悪心・嘔吐の予防に対するプラセボを対照とした多施設共同二重盲検無作為化並行群間比較試験	山崎浩一	第一内科	434千円	1 科学研究費 ( ) ② 受託研究 3 その他 ( )
悪性胸膜中皮腫を対象としたLY231514とシスプラチンとの併用療法による第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験	山崎浩一	第一内科	1,196千円	1 科学研究費 ( ) ② 受託研究 3 その他 ( )
S-7701の特発性肺線維症患者を対象とした第Ⅲ相臨床試験	別役智子	第一内科	334千円	1 科学研究費 ( ) ② 受託研究 3 その他 ( )
ティーエスワンカプセル使用成績調査(非小細胞肺癌)	山崎浩一	第一内科	168千円	1 科学研究費 ( ) ② 受託研究 3 その他 ( )
クレストール錠使用成績調査	坂上慎二	第一内科	66千円	1 科学研究費 ( ) ② 受託研究 3 その他 ( )
ミカルディス錠特定使用成績調査(J-TARGET)(Protocol No.:MICJT)ー長期使用時の脳・心血管イベントに関する調査ー	坂上慎二	第一内科	472千円	1 科学研究費 ( ) ② 受託研究 3 その他 ( )
フィニバックス点滴用0.25g使用成績調査	南須原康行	第一内科	210千円	1 科学研究費 ( ) ② 受託研究 3 その他 ( )
フィニバックス点滴用0.25g特定使用成績調査1回0.25g,1日3回投与に関する調査ー呼吸器感染症ー	南須原康行	第一内科	315千円	1 科学研究費 ( ) ② 受託研究 3 その他 ( )
Tiotropium粉末吸入剤のCOPDを対象とした大規模臨床試験ー二重盲検群間比較試験による肺機能低下速度の検討ー	西村正治	第一内科	740千円	1 科学研究費 ( ) ② 受託研究 3 その他 ( )

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
TRK-100STPの原発性肺高血圧症、膠原病に伴う肺高血圧症患者に対する長期投与試験	西村正治	第一内科	259千円	1 科学研究費 ( ) ② 受託研究 3 その他 ( )
クラリス錠特別調査	南須原康行	第一内科	75千円	1 科学研究費 ( ) ② 受託研究 3 その他 ( )
ハベカシン注射液高齢者に対する特定使用成績調査	南須原康行	第一内科	99千円	1 科学研究費 ( ) ② 受託研究 3 その他 ( )
免疫疾患に対する免疫抑制療法等先端的新規治療法に関する研究	小池隆夫	第二内科	51,700千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 3 その他 ( )
新たな診断・治療法開発のための免疫学的手法の開発に関する研究	小池隆夫	第二内科	6,500千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 3 その他 ( )
抗リン脂質抗体の病原性：プロテオミクスの手法を用いた分子生物学的解析	小池隆夫	第二内科	7,000千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
HIV感染症の医療体制の整備に関する研究	小池隆夫	第二内科	5,000千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 3 その他 ( )
難治性疾患克服研究の評価ならびに研究の方向性に関する研究	小池隆夫	第二内科	1,500千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 3 その他 ( )
自己免疫疾患に関する調査研究	渥美達也	第二内科	4,000千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 3 その他 ( )
免疫疾患の既存治療法の評価とその合併症に関する研究	渥美達也	第二内科	3,500千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 3 その他 ( )



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
抗リン脂質抗体症候群における血栓形成機序に関する研究	渥美達也	第二内科	2,100千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
関節リウマチに対するTNF阻害療法中のニューモシスティス肺炎予防指針の確立	渥美達也	第二内科	300千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
アンギオスタチンを介したニック・2グリコプロテインIの血管新生に与える影響	保田晋助	第二内科	15,730千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
自己免疫疾患の患者データベースの構築と疾患感受性遺伝子に関する研究	堀田哲也	第二内科	3,500千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
DOCK2を介したB細胞の微小環境への遊走機構解析と血液悪性腫瘍治療への応用	西尾充史	第二内科	3,200千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
インスリン感受性組織における誘導型ホスホフルクトキナーゼ2の発現と機能	渥美敏也	第二内科	3,600千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
解糖系活性化酵素・誘導型PFK-2と糖尿病慢性血管合併症の関連	渥美敏也	第二内科	1,000千円	1 科学研究費 ( ) 2 受託研究 ③ その他 (シンポジウム糖尿病研究助成)
小児・思春期 (若年) 発症2型糖尿病患者の合併症発症率の経年的全国調査	吉岡成人	第二内科	250千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 3 その他 ( )
Perilipinの脂肪分解制御機構と肥満・代謝疾患	三好秀明	第二内科	1,000千円	1 科学研究費 ( ) 2 受託研究 ③ その他 (フラテ研究奨励賞)
早期糖尿病における腎微小血行動態とその異常の解析、その治療法について	橋本整司	第二内科	3,400千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 ③ その他 (フラテ研究奨励賞)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
薬剤投与実験可能な多発性嚢胞腎モデル動物の確立	望月俊雄	第二内科	3,500千円	① 科学研究費(文部科学省) ② 受託研究 ③ その他( )
心血管病におけるミトコンドリア転写因子の役割の解明と新規治療の開発	筒井裕之	循環器内科	7,100千円	① 科学研究費(文部科学省) ② 受託研究 ③ その他( )
炎症と血栓症をリンクする転写因子C/EBPによるPAI-1発現制御の研究	筒井裕之	循環器内科	1,200千円	① 科学研究費(文部科学省) ② 受託研究 ③ その他( )
リン酸化シグナルAktによる心筋Naチャンネルの機能修飾と不整脈に関する研究	蒔田直昌	循環器内科	2,000千円	① 科学研究費(文部科学省) ② 受託研究 ③ その他( )
分子遺伝学的アプローチによる肝CD1d遺伝子発現調節機構の解明	藤井 聡	循環器内科	1,200千円	① 科学研究費(文部科学省) ② 受託研究 ③ その他( )
酸化ストレス制御による心不全における運動能力改善を目指した新規治療法の開発	網川真太郎	循環器内科	2,100千円	① 科学研究費(文部科学省) ② 受託研究 ③ その他( )
転写因子Arid5dの心血管・免疫系細胞における役割の解明と動脈硬化治療への応用	石森直樹	循環器内科	1,380千円	① 科学研究費(文部科学省) ② 受託研究 ③ その他( )
全国患者登録データを用いたわが国の慢性心不全患者の急性増悪・難治化要因の解明と効果的治療法の確立	筒井裕之	循環器内科	29,600千円	① 科学研究費(厚生労働省) ② 受託研究 ③ その他( )
特発性心筋症に関する調査研究	筒井裕之	循環器内科	1,000千円	① 科学研究費(厚生労働省) ② 受託研究 ③ その他( )
致死性遺伝性不整脈疾患の遺伝子診断と臨床応用	蒔田直昌	循環器内科	3,000千円	① 科学研究費(厚生労働省) ② 受託研究 ③ その他( )

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心不全に対し $\beta$ 遮断薬療法を安全かつ有効に導入するための統合的ゲノム薬理学研究	岡本 洋	循環器内科	7,000千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
高齢者心不全の治療戦略に関する研究	筒井裕之	循環器内科	1,000千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
無症候性Brugada症候群の遺伝子解析と機能解析	蒔田直昌	循環器内科	950千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
各種退行性変性におけるミトコンドリア転写因子を対象とした治療方法の開発	筒井裕之	循環器内科	500千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
セキュア回線を用いたホルター心電図解析ネットワークシステムの構築	蒔田直昌	循環器内科	1,500千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
肥満を有する高血圧患者における大豆胚芽抽出物の血圧に対する作用の検討	藤井 聡	循環器内科	2,850千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
慢性心不全の病態に関する基礎検討	筒井裕之	循環器内科	2,000千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
メタボリックシンドロームモデルに対するオルメサルタン及びバルサルタンの運動能力効果の比較検討	筒井裕之	循環器内科	19,500千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
突発性造血障害に関する研究	今村雅寛	血液内科 I	1,000千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
HIV感染者等保健福祉相談事業推進研究	今村雅寛	血液内科 I	1,040千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨髄、末梢血等を利用した効率的な造血幹細胞移植の運用・登録と臨床試験体制の確立並びにドナー及びレシピエントの安全確保とQOL向上に関する研究	今村雅寛	血液内科 I	500千円	① 科学研究費 (厚生労働省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
成人T細胞白血病 (ATL) をモデルとしてウイルス感染関連がんに対する革新的治療法の開発	今村雅寛	血液内科 I	500千円	① 科学研究費 (厚生労働省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
白血病に対するNK細胞受容体発現T細胞を用いた細胞療法の研究	田中淳司	血液内科 I	1,300千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
白血病に対する抑制性NK細胞受容体発現細胞を応用する治療法の開発	田中淳司	血液内科 I	300千円	① 科学研究費 ( ) ② 受託研究 ③ その他 ( )
アデノシン関連物質による臓器虚血再灌流障害の予防	藤堂 省	第一外科 臓器移植医療部	800千円	① 科学研究費 ( ) ② 受託研究 ③ その他 (日本白血病研究基金)
転写因子NF-κB制御による安全な肝臓移植法の開発	藤堂 省	第一外科 臓器移植医療部	16,500千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
遺伝子治療を用いた小腸移植の新しい戦略	古川博之	第一外科 臓器移植医療部	3,700千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
極洋の魚類より抽出された不凍タンパクを用いた隣島細胞の凍結保存法の開発	蒲池浩文	第一外科	700千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
新たに開発されたレドックス・プローブをもちいた新しい臓器機能評価法の開発	尾崎倫孝	第一外科	1,600千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
消化器外科領域における分子標的治療に向けた包括的基盤研究	尾崎倫孝	第一外科	5,300千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
水素の動きを制御することにより阻血再灌流障害のシグナルを制御する試み	深井 原	第一外科	2,000千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
高解像度アレイCGHによる胃癌のゲノム異常獲得形式と病理組織学的因子との結合解析	富岡伸元	第一外科	1,400千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
進行再発大腸癌に対する免疫療法と化学療法の併用療法の効果予測に関する研究	前田好章	第一外科	1,200千円	① 科学研究費 (文部科学省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
新規低分子NF-KB阻害剤 (DHMEQ) による新たな免疫抑制療法の開発	藤堂 省	第一外科 臓器移植医療部	19,500千円	① 科学研究費 ( ) ② 受託研究 (独立行政法人 医薬基盤研究所) ③ その他 ( )
微粒子集積体の再生医療応用	藤堂 省	第一外科	520千円	① 科学研究費 ( ) ② 受託研究 (独立行政法人 科学技術振興機構戦略的 ③ その他 ( )
独立行政法人新エネルギー・産業技術開発総合開発機構委託事業「個別化医療の実現のための技術融合バイオ診断技術開発/染色体解析技術開発」に係る、がん組織バンクの構築とCGH解析	藤堂 省	第一外科	4,000千円	① 科学研究費 ( ) ② 受託研究 (横河電機) ③ その他 ( )
ヒトモノクローナル抗CD40抗体によるサル腎・肝移植における免疫制御・免疫寛容誘導法の研究	藤堂 省	第一外科 臓器移植医療部	16,800千円	① 科学研究費 ( ) ② 受託研究 ③ その他 (共同研究キリンビール)
膵臓組織において発現する遺伝子プロファイルに関する解析	藤堂 省	第一外科	5,000千円	① 科学研究費 ( ) ② 受託研究 ③ その他 (共同研究ヒューレットパッカ) ④ その他 (共同研究ヒューレットパッカ)
厚生労働省ヒゲラム・再生医療等研究事業「移植医療の社会基盤整備に関する研究」	藤堂 省	第一外科 臓器移植医療部	1,500千円	① 科学研究費 (厚生労働省) ② 受託研究 ③ その他 ( )
水素の反応制御による肝低温・低酸素/復温・再酸素化障害の軽減	深井 原	第一外科	320千円	① 科学研究費 ( ) ② 受託研究 ③ その他 (ノーステック財団若手研究補助金)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
NY-ESO-1/CpGによる新規癌ワクチンの第二相臨床試験	近藤 哲	第二外科	10,300千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
PEDFの血管新生阻害機序の解明と遺伝子治療の臨床応用	平野 聡	第二外科	2,400千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
自然免疫活性化アジュバントと癌抗原蛋白を用いた新規癌ワクチンの臨床研究	宮本正樹	第二外科	5,000千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
末梢血中血管内皮前駆細胞の腫瘍マーカーとしての意義	加賀基知三	第二外科	2,400千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
隣がん診療の新たな標的分子の探索と遺伝子治療法の開発	宮本正樹	第二外科	2,000千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 3 その他 ( )
厚生労働省科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「関節リウマチ上肢人工関節開発に関する研究」	三浪明男	整形外科	12,000千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 3 その他 ( )
日本学術振興会 科学研究費補助金 萌芽研究「神経組織再生のための新規多機能生体内吸収性基材の開発」	三浪明男	整形外科	1,400千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
再生医療による靭帯・腱損傷治療技術の開発	眞島任史	整形外科	4,830千円	1 科学研究費 ( ) 2 受託研究 ③ その他 (産業技術助成事業費助成金NEDO)
腱・靭帯のリモデリングにおけるオステオポンチンの効果の解明と治療への応用	眞島任史	整形外科	1,300千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
平成18年度長寿医療研究委託事業「高齢者の脊椎骨折の再建治療法の標準化に関する研究」分担研究課題名『手術療法の標準化』	伊東 学	整形外科	1,250千円	1 科学研究費 ( ) ② 受託研究 (国立長寿医療センター) 3 その他 ( )

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
平成18年度科学研究費補助金(基盤研究(B))「前方・後方置換に対応する頸椎・腰椎複合材料型人工椎間板の臨床応用」	小谷善久	整形外科	2,700千円	① 科学研究費(独立行政法人日本学術振興会) 2 受託研究 3 その他( )
平成18年度科学研究費補助金(若手研究(B))「アポトーシス関連遺伝子を用いた椎間板組織の細胞周期・老化変性の制御機構の解明」	須藤英毅	整形外科	1,100千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
関節リウマチ上肢人工関節開発に関する研究	岩崎倫政	整形外科	1,500千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
腱靭帯損傷後のSDF-1の発現の変化とその骨髄間葉系幹細胞による修復への影響	末長直樹	整形外科	2,500千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
癌のリンパ行性転移の撲滅を目指して～リンパ系ドラッグデリバリーシステムの開発～	古川洋志	形成外科	4000千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
Neural-superchargeによる顔面神経不全麻痺の外科的治療法:ネットワーク型神経再建法の開発	山本有平	形成外科	3800千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
異なる間葉系細胞による腱・靭帯マトリクス再構築機序の解明とその分子標的制御	安田和則	スポーツ医学診療科	3,000千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
ソフト&ウェット型人工筋肉の創出と生体代替運動システムへの応用	安田和則	スポーツ医学診療科	20,000千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
閉経後骨粗鬆症におけるMIFの関与とMIF-DNAワクチンによる予防効果の検討	小野寺伸	スポーツ医学診療科	1,200千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
『敗血症性ショックにおけるPARsの臓器発現とその制御』	丸藤 哲	先進急性期医療センター	6,300千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
多系統萎縮症の発症素因解明に関する基礎的研究	佐々木秀直	神経内科	1,000千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
多発性硬化症の疾患関連遺伝子同定へのアプローチ	菊地誠志	神経内科	2,200千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
脊髄スライス培養法を用いた運動ニューロン死の検討とALS新規治療法の開発	辻 幸子	神経内科	2,100千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
正常圧水頭症と関連疾患の病因・病態と治療に関する研究	佐々木秀直	神経内科	600千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	佐々木秀直	神経内科	700千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
運動失調症に関する調査研究	佐々木秀直	神経内科	2,000千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
神経変性疾患に関する調査研究	佐々木秀直	神経内科	1,000千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
治験の実施に関する研究〔酢酸リュープロレリン〕	佐々木秀直	神経内科	2,800千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
難治性疾患の画期的診断・治療法等に関する研究	菊地誠志	神経内科	1,000千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
免疫性神経疾患に関する調査研究	菊地誠志	神経内科	900千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
筋萎縮性側索硬化症の画期的診断・治療法に関する研究	菊地誠志	神経内科	1,000千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
ジストニアの疫学、病態、治療に関する研究	菊地誠志	神経内科	700千円	1 科学研究費( ) 2 受託研究 ③ その他(精神・神経疾患研究委託費)
スモンに関する調査研究	矢部一郎	神経内科	700千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
新規機能性物質が眼底循環動態に及ぼす影響の生理学的・薬理学的研究	大野重昭	眼科	2,000千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
網膜剥離後の細胞増殖におけるp27(KIP1)の役割	吉田和彦	眼科	1,600千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
モンゴロイドに多発する難治性内眼炎の分子遺伝学的、分子疫学的研究と世界失明予防	大野重昭	眼科	3,900千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
難治性内眼炎の分子遺伝学的、免疫薬理学的研究による失明予防の新規展開	大野重昭	眼科	9,750千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
ハスカップの抗酸化性機能成分を活用した新規加工食品の開発	大野重昭	眼科	2,088千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
ベーチェット病に関する調査研究	大野重昭	眼科	1,000千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
急性高度難聴に関する調査研究(分担)	福田 諭	耳鼻咽喉科	1,200千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヘルペス性顔面神経麻痺の病態に関する統合的解明(代表)	古田 康	耳鼻咽喉科	1,400千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
アレルギー性鼻炎治療を目的としたマクロファージ遊走阻止因子の基礎的研究(代表)	中丸裕爾	耳鼻咽喉科	1,200千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
頭頸部癌ドセタキセル併用化学放射線同時併用療法の治療感受性・再発予測因子の同定(代表)	樋口榮作	耳鼻咽喉科	1,100千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
生理学的眼球運動検査による脊髄小脳変性症の平衡機能評価(代表)	武市紀人	耳鼻咽喉科	600千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
頭頸部癌に対する超選択的動注療法の新しい展開	本間明宏	耳鼻咽喉科	2,600千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
咽喉頭酸逆流症(LPR)に伴う消化器症状(食欲不振・消化不良)に対する六君子湯の効果の検討	折館伸彦	耳鼻咽喉科	1,617千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の検討-多施設無作	本間明宏	耳鼻咽喉科	598千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
Paclitaxel(BMS-181339)の毎週投与方法(weekly投与方法)による第Ⅱ相臨床試験(頭頸部癌:前期第Ⅱ相試験)	古田 康	耳鼻咽喉科	271千円	1 科学研究費( ) 2 受託研究 ③ その他(治験)
オキシコンチン錠 特別調査	本間明宏	耳鼻咽喉科	79千円	1 科学研究費( ) 2 受託研究 ③ その他(治験)
ハカシ注射液 薬物血中濃度モニタリング 施行患者に対する特定使用成績調査 2例	本間明宏	耳鼻咽喉科	63千円	1 科学研究費( ) 2 受託研究 ③ その他(治験)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
フィニバックス点滴用0.25g使用成績調査	本間明宏	耳鼻咽喉科	210千円	1 科学研究費 ( ) 2 受託研究 ③ その他 (治験 )
骨固定型補聴器CB0601の伝音障害患者及び片側聾患者に対する有効性と安全性の臨床試験	福田 論	耳鼻咽喉科	651千円	1 科学研究費 ( ) 2 受託研究 ③ その他 (治験 )
プロテオーム解析による頭頸部および食道扁平上皮癌の癌化、転移に関するタンパク質群の同定	畠山博充	耳鼻咽喉科	500千円	1 科学研究費 ( ) 2 受託研究 ③ その他 (北海道大学クラーク記念財団)
空間速度認知における小脳・脳幹の役割の検討	武市紀人	耳鼻咽喉科	500千円	1 科学研究費 ( ) 2 受託研究 ③ その他 (フラテ研究奨励費2006-2007年度)
司法精神医療の適正な実施と普及のあり方に関する研究	小山 司	精神科神経科	39,500千円	① 科学研究費 (厚生労働省 ) 2 受託研究 3 その他 ( )
難治性うつ病の治療反応性予測と客観的診断法に関する生物・心理・社会的統合研究	久住一郎	精神科神経科	2,500千円	① 科学研究費 (厚生労働省 ) 2 受託研究 3 その他 ( )
児童・青年期の気分障害の疫学的研究 ー有病率、予後および関連要因ー	傳田健三	精神科神経科	2,200千円	① 科学研究費 (文部科学省 ) 2 受託研究 3 その他 ( )
双極性障害の病態における小胞体ストレス反応の役割	久住一郎	精神科神経科	1,100千円	① 科学研究費 (文部科学省 ) 2 受託研究 3 その他 ( )
内因性精神疾患の病態・発症機序における情動ストレスの役割に関する研究	井上 猛	精神科神経科	1,700千円	① 科学研究費 (文部科学省 ) 2 受託研究 3 その他 ( )
ストレス脆弱性の脳内分子基盤 ーうつ病と神経細胞新生の関連に注目してー	中川 伸	精神科神経科	2,100千円	① 科学研究費 (文部科学省 ) 2 受託研究 3 その他 ( )

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
網羅的SNP解析による双極性障害関連遺伝子の探索と臨床応用	田中輝明	精神科神経科	2,300千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
不安障害における扁桃体の役割をセロトニンとグルタミン酸の相互作用から検討する	北市雄士	精神科神経科	1,000千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
統合失調症患者の病識に関する臨床的研究	賀古勇輝	精神科神経科	2,400千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
不安障害の病態と治療におけるセロトニン神経系の関与の解明	小山 司	精神科神経科	2,700千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
北海道地区の統合ならびに精神科病院における境界性人格障害治療に関する研究	傳田健三	精神科神経科	600千円	1 科学研究費( ) 2 受託研究 3 その他( )
脳画像解析と生物学的指標を用いた精神疾患の診断と治療効果の判定への応用に関する研究	久住一郎	精神科神経科	1,200千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	井上 猛	精神科神経科	1,100千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
脳血管障害後の麻痺に対する両側連続磁気刺激法の開発	生駒一憲	リハビリテーション科	3,100千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
高次脳機能障害者に対する地域支援ネットワークの構築に関する研究	生駒一憲	リハビリテーション科	3,000千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
高次脳機能障害者支援事業(リハビリ支援コーディネーター事業)	生駒一憲	リハビリテーション科	1,834千円	1 科学研究費( ) 2 受託研究 ③ その他(北海道受託事業)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
力学的環境変化による腱マトリクス改変現象に対する人為的制御システムの統合的開発	遠山晴一	リハビリテーション科	8,900千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
化学物質リスク研究事業:ナノ微粒子体内動態可視化法の開発	遠山晴一	リハビリテーション科	1,500千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
中枢神経疾患における遂行機能障害に対する連続経頭蓋磁気刺激の臨床応用に関する検討	中馬孝容	リハビリテーション科	11,440千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
補足運動野連続磁気刺激による大脳基底核疾患治療の開発	中馬孝容	リハビリテーション科	400千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
Susceptibility Weighted Imaging (SWI) 法、及びFMZ-PETによるびまん性軸索損傷の重症度と予後予測の検討	伊藤武哉	リハビリテーション科	1,000千円	1 科学研究費( ) 2 受託研究 ③ その他(日本損害保険協会一般研究助成)
嚥下障害評価法の多変量解析—嚥下音を中心として	浦上祐司	リハビリテーション科	1,100千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
前方視的無作為振り分け臨床試験による双胎間輸血症候群発症予防に関する研究	水上尚典	産科・周産母子センター	1,000千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
自然流産発症機転におけるNH細胞抑制受容体(KIR)とHLA class Iの関与	山田秀人	産科・周産母子センター	1,400千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
ラットを用いた子宮内炎症に起因する新生児慢性肺疾患の成立機序解明に関する研究	長 和俊	産科・周産母子センター	1,200千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
胎盤の発生発達及び妊娠高血圧腎症におけるオートファジーの役割に関する研究	山田崇弘	産科・周産母子センター	1,700千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
子宮体癌の新しい分子標的治療開発のためのp53変異とp63, p73の機能解析	櫻木範明	婦人科	8,400千円	① 科学研究費(文部科学省) ② 受託研究 ③ その他( )
がん臨床研究事業;進行・再発子宮頸がんに対する標準的治療体系の確立に関する研究	櫻木範明	婦人科	1,000千円	① 科学研究費(厚生労働省) ② 受託研究 ③ その他( )
がん臨床研究事業;子宮体がんに対する標準的科学的療法の確立に関する研究	櫻木範明	婦人科	1,800千円	① 科学研究費(厚生労働省) ② 受託研究 ③ その他( )
化学物質リスク研究事業;前向きコホート研究による先天異常モニタリング、特に尿道下裂、停留精巣のリスク要因と内分泌かく乱物質に対する感受性の解明	櫻木範明	婦人科	50千円	① 科学研究費(厚生労働省) ② 受託研究 ③ その他( )
がん臨床研究事業;外国への日本人研究者派遣事業	櫻木範明	婦人科	4,767千円	① 科学研究費( ) ② 受託研究 ③ その他(がん集学的治療研究財団)
「ヒト・メタニューモウイルス表面膜蛋白(F、G、SH)の機能解析と臨床への応用」	石黒信久	感染制御部(小児科)	1,300千円	① 科学研究費(文部科学省) ② 受託研究 ③ その他( )
4次元定位放射線治療の基礎	白土博樹	放射線科	930千円	① 科学研究費(文部科学省) ② 受託研究 ③ その他( )
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立のための臨床試験	白土博樹	放射線科	60千円	① 科学研究費(文部科学省) ② 受託研究 ③ その他( )
定位放射線治療による予後改善に関する研究	白土博樹	放射線科	50千円	① 科学研究費(厚生労働省) ② 受託研究 ③ その他( )
多施設共同研究の質の向上のための研究体制確立に関する研究	白土博樹	放射線科	40千円	① 科学研究費(厚生労働省) ② 受託研究 ③ その他( )

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高次脳機能を温存する転移性脳腫瘍の治療法確立に関する研究	白土博樹	放射線科	60千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
システム生物学の導入による放射線治療の体積効果に関する研究	鈴木恵士郎	放射線科	100千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
FDG-PETによる炎症病変診断法の開発: 膜輸送遺伝子、病理組織学的検討	玉木長良	核医学診療科	1,600千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
ポジトロンエミッショントモグラフィ(PET)の新しい診断分野の開拓に関する基礎的・臨床的研究	玉木長良	核医学診療科	3,500千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
新しいPET用製剤による悪性腫瘍の診断・評価	玉木長良	核医学診療科	1,200千円	① 科学研究費(厚生労働省) 2 受託研究 3 その他( )
O-15 標識水による冠動脈硬化病変の早期診断と治療効果判定に関する研究	玉木長良	核医学診療科	2,700千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
最適放射性薬剤を用いた不安定プラークの抽出に関する検討	玉木長良	核医学診療科	1,400千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
次世代核医学診断システム及び診断・治療統合医療システムの研究	玉木長良	核医学診療科	1,000千円	1 科学研究費( ) ② 受託研究 3 その他( )
根面へのBMP付着と歯根膜のスキヤホールドによる歯周組織再生	菅谷 勉	保存系歯科	1,900千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
歯周病罹患歯の残存歯根膜を組織培養した歯の移植による歯周組織再生療法の開発	齋藤 彰	保存系歯科	1,300千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
接着性レジンの生体内での長期的な接着力と生体親和性の変化	田中佐織	保存系歯科	700千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
BMPを歯根面に塗布しセメント質を再生させる新しい歯周組織再生療法の開発	宮治裕史	保存系歯科	600千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
BMPと細胞の複合移植によって水平性骨欠損の歯周組織再生量の増大を目指す研究	齋藤恵美子	保存系歯科	1,500千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
全部床義歯の動態解析に基づく顎堤形態の客観的・実用的な新しい診断法の開発	高山芳幸	保存系歯科	1,900千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
カーボンナノチューブをスキャホールドとして用いた顎骨再生療法の開発	横山敦郎	保存系歯科	4,100千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
平成18年度基盤研究(B) 歯根膜の血管新生機構に対する機械的刺激の役割と加齢によるその常態変化	飯田順一郎	咬合系歯科	3,900千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
平成18年度萌芽研究 先天性不正咬合マウス(BALB/c-bm/bm)における顎口腔機能異常発生機序の解明	飯田順一郎	咬合系歯科	1,100千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
平成18年度基盤研究(C) 歯・歯根膜・歯槽骨の三次元形態に基づいた新たな矯正学的歯の移動方法の明確化	佐藤嘉晃	咬合系歯科	1,100千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
平成18年度若手研究(B) 不正咬合発生機序におけるプロテオグリカンの役割	菅原由紀	咬合系歯科	1,500千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
平成18年度基盤研究(C) 矯正学的機械的ストレス下の骨免疫細胞コミュニケーションで果たす歯根膜細胞の役割	金壮 律	咬合系歯科	1,100千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
平成18年度若手研究(B) 遺伝子発現系を用いた硬組織合成メカニズムの解析	岡本 亨	咬合系歯科	500千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
平成18年度若手研究(B) 顎関節症;形態変化と滑液成分の関連-破骨細胞を動かす因子に着目して-	松野美乃	咬合系歯科	1,300千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
平成18年度若手研究(A) グレーデッドインデックス型光ポリマーを応用した、金属非可視型矯正ワイヤーの開発	豊泉 裕	咬合系歯科	1,300千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
臨床的スミア層の超微細構造解析と簡略化ステップ接着システムの接着性能に及ぼす影響	井上 哲	咬合系歯科	1,400千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
PET診断に基づいた器官温存を目指した新しい口腔癌治療戦略の確立	北川善政	口腔系歯科	5,600千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
顎変形症の成因に関する咀嚼筋の筋病理学的研究	北川善政	口腔系歯科	1,200千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
発現遺伝子プロファイルを用いた口腔扁平苔癬の薬剤感受性と悪性化の診断に関する研究	山崎 裕	口腔系歯科	2,100千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
Pim-1 がん遺伝子の口腔扁平上皮がんにおける役割の解明と治療への応用	石川 誠	口腔系歯科	1,700千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
ヒト舌癌特異的アデノウィルス二重感染法の樹立と応用への基礎	葛巻 哲	口腔系歯科	2,000千円	① 科学研究費(文部科学省) 2 受託研究 3 その他( )
専門的口腔ケアによる高齢者入院患者の合併症軽減とQOL向上に関する研究	北川善政	口腔系歯科	300千円	1 科学研究費( ) 2 受託研究 ③ その他(財団法人8020推進財団)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
口腔ケアによる高齢入院患者の合併症予防に関する研究	北川善政	口腔系歯科	719千円	1 科学研究費 ( ) 2 受託研究 ③ その他 (北海道高齢者問題研究会)
化学物質リスク研究事業ナノ微粒子の体内動態可視化法の開発	北川善政	口腔系歯科	1,000千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 3 その他 ( )
カーボンナノチューブセンサーによるリアルタイム生体モニタリングの研究	千葉仁志	検査・輸血部	7,300千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
カーボンナノチューブセンサーによる肝特異的酸化リポ蛋白の測定	千葉仁志	検査・輸血部	600千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
FISH法と免疫組織化学染色の重染色を用いた脳腫瘍遺伝子診断法の開発	丸川活司	病理部	760千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )
テイコプラニンの有効性と有効トラフ血中濃度の評価	沖 洋充	薬剤部	720千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 3 その他 ( )

計 206

(様式 1 1)

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	発表年月	題 名	発表者氏名	診療科名等
American journal of respiratory and critical care medicine	2006年6月	Airflow limitation and airway dimensions in chronic obstructive pulmonary disease	長谷川 大 (Hasegawa M)	第一内科
Thorax 61 : 496-502	2006年6月	Long term smoking with age builds up excessive oxidative stress in bronchoalveolar lavage fluid	長井 桂 (Nagai K)	第一内科
Clinical and experimental allergy 36 : 872-876	2006年7月	Genetic polymorphisms at FCER1B and PAI-1 and asthma susceptibility	檜澤伸之 (Hizawa N)	第一内科
Human pathology 37 : 1058-1065	2006年8月	Extracellular matrix metalloproteinase inducer in interstitial pneumonias	小田島奈央 (Odajima N)	第一内科
Proceedings of the American Thoracic Society 3 : 471-472	2006年8月	Diverse expression of antioxidants and inflammatory chemokines in terminal bronchiolar epithelium in chronic obstructive pulmonary disease	別役智子 (Betsuyaku T)	第一内科
Clinical and experimental allergy 36 : 1109-1114	2006年9月	Role of interleukin-17F in chronic inflammatory and allergic lung disease	檜澤伸之 (Hizawa N)	第一内科
Anticancer research 26 : 3767-3772	2006年9月	Phase II study of carboplatin and weekly paclitaxel in advanced non-small cell lung cancer	中館 恵 (Nakadate M)	第一内科
British journal of cancer 95 : 998-1004	2006年10月	A phase II trial of gefitinib as first-line therapy for advanced non-small cell lung cancer with epidermal growth factor receptor mutations	朝比奈 肇 (Asahina H)	第一内科
American journal of respiratory and critical care medicine	2006年11月	Polymorphisms in the muscarinic receptor 1 gene confer susceptibility to asthma in Japanese subjects	前田由起子 (Maeda Y)	第一内科
Clinical Therapeutics 29 : 123-130	2007年1月	Pharmacokinetics of gatifloxacin after a single oral dose in healthy young adult subject and adult patients with concentrations obtained by bronchoscopic microsampling and	菊地順子 (Kikuchi J)	第一内科

(様式11)

2 論文発表等の実績

Connective tissue research 48 : 9-18	2007年1月	Differentiation of tracheal basal cells to ciliated cells and tissue reconstruction on the synthesized basement membrane substratum in vitro	細川 剛 (Hosokawa T)	第一内科
International archives of allergy and immunology 142 : 51-58	2007年2月	Genetic Impact of Functional Single Nucleotide Polymorphisms in the 3'-UTR Region of the Chemoattractant Receptor Expressed on Th2 Cells (CRTH2) Gene on Asthma and	前田由起子 (Maeda Y)	第一内科
Chest 131 : 549-553	2007年2月	Factors Related to Diagnostic Sensitivity Using an Ultrathin Bronchoscope Under CT Guidance	品川 尚文 (Shinagawa N)	第一内科
Diabetes Res Clin Pract 75 (3) : 357-361	2007年3月	Acute onset of type 1 diabetes accompanied by acute hepatitis C: the potential role of proinflammatory cytokine in the pathogenesis of autoimmune diabetes.	小池隆夫	第二内科
Arthritis Rheum 56 (2) : 393-394	2007年2月	" Resurrection of thrombin" in the pathophysiology of the antiphospholipid syndrome	小池隆夫	第二内科
Ann Hematol 86 (2) : 155-157	2007年2月	Hepatosplenic alpha/beta T cell lymphoma presenting with cold agglutinin disease	西尾充史	第二内科
J Endocrinol Invest 30 (1) : 65-69	2007年1月	Unilateral adrenalectomy improves insulin resistance and polycystic ovaries in a middle-aged woman with virilizing adrenocortical adenoma complicated with Cushing's	小池隆夫	第二内科
Blood 109 (2) : 703-710	2007年1月	APRIL support chronic lymphocytic leukemia B-cell survival through activation of the canonical NF- $\kappa$ B pathway	西尾充史	第二内科
APLAR J Rheumatol 9 (4) : 377-386	2006年12月	Pathophysiology of the antiphospholipid syndrome:roles of anticardiolipin antibodies in thrombosis and fibrinolysis	渥美達也	第二内科
Eur J Haematol 77 (3) : 226-232	2006年9月	Hypogammaglobulinemia with a selective delayed recovery inmemory B cells and an impaired Isotype expression after rituximab administration as an adjuvant to autologous stem	西尾充史	第二内科

(様式11)

2 論文発表等の実績

Diabetes Res Clin Pract 73 (2) : 215-217	2006年8月	A novel mutation of WFS1 gene in a Japanese man of Wolfram syndrome with positive diabetes-related antibodies	小池隆夫	第二内科
Am J Hematol 81 (10) : 787-797	2006年8月	One novel and one recurrent mutation in the PROS1 gene cause type I protein S deficiency in patients with pulmonary embolism associated with deep vein thrombosis	小池隆夫	第二内科
Ann Rheum Dis 65 (8) : 1118-1120	2006年8月	Protective effect of pravastatin on vascular endothelium in patients with system sclerosis:a pilot study	保田晋助	第二内科
Clin Infect Dis 42 (11) : 1653-5	2006年6月	Acute schizophrenic symptoms as the initial manifestation of HIV infection that respond to highly active antiretroviral therapy	西尾充史	第二内科
Diabetes Res Clin Pract 72 (2) : 142-7	2006年5月	Clinical analysis of cognitive function in diabetic patients by MMSE and SPECT	吉岡成人	第二内科
J Endocrinol Invest 29 (4) : 367-372	2006年4月	A case of reversed pituitary dysfunction with intrasellar mass	小池隆夫	第二内科
Am J Physiol Renal Physiol 290 (4) : F888-91	2006年4月	Reduced autoregulatory effectiveness in adenosine 1 receptor-deficient mice	橋本整司	第二内科
Clinical cancer research 12巻18号 5363-5368項	2006年9月	Overexpression of cyclase-associated protein 2 in multistage hepatocarcinogenesis	中馬 誠	第三内科
Intern Med, 45 (5) : 235-239	2006年4月	Risk factors and the incidence of coronary artery disease in young middle-aged Japanese men: results from a 10-year cohort study	Tsutsui H	循環器内科
Circulation, 113 (14) : 1779-1786	2006年4月	Overexpression of mitochondrial peroxiredoxin-3 prevents left ventricular remodeling and failure after myocardial infarction in mice	Kinugawa S	循環器内科

(様式11)

2 論文発表等の実績

Hypertension, 47(4):711-717	2006年4月	Targeted deletion of matrix metalloproteinase 2 ameliorates myocardial remodeling in mice with chronic pressure overload	Tsutsui H	循環器内科
J Med Ultrasonics, 33:77-83	2006年	A fundamental study for quantitative measurement of ultrasound contrast concentration by low mechanical index contrast ultrasonography	Yamada S	循環器内科
J Am Soc Echocardiogr, 19(7):857-864	2006年7月	Role of left ventricular regional diastolic abnormalities for global dysfunction in patients with hypertrophic cardiomyopathy.	Yamada S	循環器内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol, 26(10):2407-2413	2006年8月	Hepatocyte growth factor regulates E Box-dependent plasminogen activator inhibitor type 1 gene expression in HepG2 liver cells.	Tsutsui H	循環器内科
Coron Artery Dis, 17(6):523-528	2006年9月	Lower prevalence of circulating natural killer T cells in patients with angina: a potential novel marker for coronary artery disease	Tsutsui H	循環器内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol, 291(3):H1337-H1344	2006年9月	Blockade of NF- $\kappa$ B improves cardiac function and survival after myocardial infarction	Tsutsui H	循環器内科
Genetics, 174(2):999-1007	2006年10月	Complex genetic architecture revealed by analysis of high-density lipoprotein cholesterol in chromosome substitution strains and F2 crosses	Ishimori N	循環器内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol, 291(5):H2237-H2245	2006年11月	Overexpression of glutathione peroxidase attenuates myocardial remodeling and preserves diastolic function in diabetic heart	Tsutsui H	循環器内科
Circ J, 70(12):1617-1623	2006年12月	Clinical characteristics and outcome of hospitalized patients with heart failure in Japan. -Rationale and design of Japanese Cardiac Registry of Heart Failure in	Tsutsui H	循環器内科
Jpn J Med Ultrasonics, 33:665-671	2006年	低音圧コントラストエコー法による超音波造影剤濃度の定量に関する基礎的検討	山田 聡	循環器内科

(様式 1 1)

2 論文発表等の実績

J Nucl Med, 47 (12) :1914-1920	2006年12月	Smoking cessation normalizes coronary endothelial vasomotor response assessed with 150-water and PET in healthy young smokers	Tsutsui H	循環器内科
Hypertens Res, 30 (5) :439-449	2006年12月	Angiotensin II type 1 receptor blocker attenuates myocardial remodeling and preserves diastolic function in diabetic heart	Tsutsui H	循環器内科
Circulation, 115:255-262	2007年1月	Hyperhomocysteinemia alters cardiac substrate metabolism by impairing nitric oxide bioavailability through oxidative stress	Kinugawa S	循環器内科
Am J Physiol Cell Physiol, 292 (1) :C209-15	2007年1月	Interleukin (IL)-1 and IL-6 induce hepatocyte plasminogen activator inhibitor-1 expression through independent signaling pathways converging on C/EBPd	Tsutsui H	循環器内科
J Atheroscler Thromb, 14 (1) :31-35	2007年2月	Platelet aggregability in patients with hypertension treated with angiotensin II type 1 receptor blockers	Tsutsui H	循環器内科
J Ultrasound Med, 26 (2) :A169-77	2007年2月	Prevalence and clinical importance of spontaneous echo contrast within the carotid artery in patients with ischemic cerebrovascular disease	Tsutsui H	循環器内科
Cardiovasc Res, 73:794-805	2007年3月	Soluble TNF receptors prevent apoptosis in infiltrating cells and promote ventricular rupture and remodeling after myocardial infarction	Tsutsui H	循環器内科
Circ J, 71 (3) :348-353	2007年3月	Elevated plasma plasminogen activator inhibitor type-1 is an independent predictor of coronary microvascular dysfunction in hypertension	Tsutsui H	循環器内科
Biol Pharm Bull, 30 (3) :537-42	2007年3月	Evaluation of effects of polymorphism for metabolic enzymes on pharmacokinetics of carvedilol by population pharmacokinetic analysis	Tsutsui H	循環器内科
Circ J, 71 (3) :327-30	2007年3月	Higher serum tenascin-C levels reflect the severity of heart failure, left ventricular dysfunction and remodeling in patients with dilated cardiomyopathy	Okamoto H	循環器内科

(様式11)

2 論文発表等の実績

Int Heart J, 48(3):359-367	2007年3月	Induction of c-fos mRNA Expression by Pure Pressure Overload in Cultured Cardiac Myocytes	Tsutsui H	循環器内科
Bone Marrow Transplantation 37.9 837-843	2006年5月	Analysis of donor type chimerism in CD3, CD14, 15 and CD56 positive cells after allogeneic myeloablative and nonmyeloablative cell transplantation	Imamura M	血液内科 I
Eur. S. Haematol. 77. 5:403-409	2006年11月	Effect of granulocyte colony-stimulating factor on IL-12 p40 production during chemotherapy for B-cell lineage non-Hodgkins Lymphoma	Imamura M	血液内科 I
日本消化器外科学会雑誌 39(9):1472-79	2006年9月	径2cm以下の肝細胞癌の病態と切除成績	中西一彰	第一外科
日本臨床外科学会雑誌 67(10):2261-66	2006年10月	再発発見のきっかけからみた乳癌術後フォローアップ法の検討	高橋弘昌	第一外科
J Thorac Cardiovasc Surg 131(6):1248-54	2006年6月	Pulmonary resection for metastases from hepatocellular carcinoma: factors influencing prognosis	Nakagawa T	第一外科
Journal of pediatric surgery 41(4):868-71	2006年4月	Multiple mesenteric teratomas: usefulness of spiral computed tomography with 3-dimensional reconstruction	Okada T	第一外科
European journal of pediatric surgery 16(2):115-9	2006年4月	Effective esophageal balloon dilation for esophageal stenosis in recessive dystrophic epidermolysis bullosa	Okada T	第一外科
European journal of pediatric surgery 16(4):235-40	2006年8月	Management and algorithm for focal nodular hyperplasia of the liver in children	Okada T	第一外科
Annals of Surgery 244(3):451-463	2006年9月	AFP mRNA detected in bone marrow by real-time quantitative RT-PCR analysis predicts survival recurrence after curative hepatectomy for hepatocellular carcinoma	Kamiyama T	第一外科



(様式 1 1)

2 論文発表等の実績

Transplantation81(12):1747-9	2006年6月	Impact of double-filtration plasmapheresis in combination with interferon and ribavirin living donor liver transplant recipients with hepatitis C	Taniguchi M	第一外科
Journal of hepato-biliary-pancreatic surgery13(5):393-7	2006年9月	Living-donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma	Furukawa H	第一外科
Transplantation81(12):1747-9	2006年6月	Impact of double-filtration plasmapheresis in combination with interferon and ribavirin living donor liver transplant recipients with hepatitis C	Taniguchi M	臓器移植医療部
Journal of hepato-biliary-pancreatic surgery13(5):393-7	2006年9月	Living-donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma	Furukawa H	臓器移植医療部
Ann Surg Oncol 13(12)1671-1681	2006年12月	Image-guided oncologic surgery using invisible light: completed pre-clinical development for sentinel lymph node mapping	Tanaka E	第二外科
Br J Cancer 94(2)275-280	2006年1月	Concurrent infiltration by CD8(+) T cells and CD4(+) T cells is a favourable prognostic factor in non-small-cell lung carcinoma	Miyamoto M	第二外科
Cancer Gene Ther 13 856-863	2006年5月	Transcriptional targeting of adenovirus vectors with the squamous cell carcinoma-specific antigen-2 promoter for selective apoptosis induction in lung cancer	Miyamoto M	第二外科
Cancer Res 66(21)10339-10348	2006年11月	Activation of CDCA1-KNTC2, members of centromere protein complex, involved in pulmonary carcinogenesis	Kondo S	第二外科
Cancer Sci 97(9)920-927	2006年9月	Antitumor activity of chimeric immunoreceptor gene-modified Tc1 and Th1 cells against autologous carcinoembryonic antigen-expressing colon cancer cells	Kondo S	第二外科
Clin Cancer Res 12(2)411-416	2006年1月	Tumor-Associated Antigen Recognized by the 22-1-1 Monoclonal Antibody Encourages Colorectal Cancer Progression under the Scanty CD8+ T Cells	Miyamoto M	第二外科

(様式 1 1)

2 論文発表等の実績

Dis Esophagus 19 (4) 299-304	2006年8月	Salvage of a massive esophago-tracheal fistula resulting from a stenting treatment	Shichinohe T	第二外科
Dis Esophagus 19 (5) 355-359	2006年9月	Immunohistochemical analysis of nuclear survivin expression in esophageal squamous cell carcinoma.	Shichinohe T	第二外科
Int J Oncol 28 (6) 1375-1384	2006年6月	Genome-wide gene expression profile analysis of esophageal squamous cell carcinomas	Kondo S	第二外科
Int J Oncol 28 (5) 1089-1098	2006年5月	Expression of the MAGE-A4 and NY-ESO-1 cancer-testis antigens and T cell infiltration in non-small cell lung carcinoma and their prognostic significance	Kondo S	第二外科
J Am Coll Surg 202 (5) 732-736	2006年5月	Number of lymph node metastases is better predictor of prognosis than level of lymph node metastasis in patients with node-positive colon cancer	Suzuki O	第二外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg 13 (4) 355-358	2006年7月	Recurrence of mucosal carcinoma with superficial flat spread of the bile duct 12 years after operation	Hirano S	第二外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg 13 (5) 458-462	2006年9月	Local recurrence at hepaticojejunostomy 9 years after resection of bile duct cancer with superficial flat spread	Hirano S	第二外科
Oncol Rep 15 (4) 797-802	2006年4月	Disordered expression of HOX genes in human non-small cell lung cancer	Kondo S	第二外科
Cancer Res 67 (6) 2517-2525	2007年3月	Dkkopf-1 as a Novel Serological and Prognostic Biomarker for Lung and Esophageal Carcinomas	Kondo S	第二外科
Cancer Res 67 (9) 4113-4122	2007年5月	Phosphorylation and activation of cell division cycle associated 8 by aurora kinase B plays a significant role in human lung carcinogenesis	Kondo S	第二外科

(様式 1 1)

2 論文発表等の実績

Clin Cancer Res 13 (2) 434-442	2007年1月	Increased Expression of Insulin-like Growth Factor-II Messenger RNA-Binding Protein 1 Is Associated with Tumor Progression in Patients with Lung Cancer	Kondo S	第二外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg 14 (2) 149-154	2007年3月	Feasibility of en bloc wedge resection of the pancreas and/or the duodenum as an alternative to pancreatoduodenectomy for advanced gallbladder cancer	Hirano S	第二外科
Journal of Artificial Organs 9 (4) :214-219	2006年12月	Heparin reduction with the use of cardiotomy suction is associated with hyperfibrinolysis during distal aortic perfusion with a heparin-coated semi-closed	Norihiko Shiiya	循環器外科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 55 (3) :85-90	2007年3月	Management of vital organ malperfusion in acute aortic dissection:proposal of a mechanism-specific approach	Norihiko Shiiya	循環器外科
Coronary Intervention 3 (2) :34-39	2007年3月	虚血性僧帽弁逆流への外科的対応	松居善郎	循環器外科
J Orthop Sci, 11:272-277	2006年4月	Effects of ligament repair on laxity and creep behaviour of an early healing ligament scar	眞島任史	整形外科
J Immunol 176 (9) :5637-43	2006年5月	Tumor-derived TGFbeta-1 induces dendritic cell apoptosis in the sentinel lymph node	Ito M	整形外科
J Shoulder Elbow Surg	2006年5月	Numerical analysis of cooperative abduction muscle forces in a human shoulder joint	Oizumi N, Tadano S, Narita Y, Suenaga N, Iwasaki N, and Minami A	整形外科
Am J Roentgenol	2006年6月	Relationship between bone marrow edema and development of symptoms in pateints with osteonecrosis of the femoral head	Ito H, Matsuno T, and Minami A	整形外科
Spine	2006年6月	Palliative spinal reconstruction using cervical pedicle screws for metastatic lesions of the spine	Oda I, Abumi K, Ito M, Kotani Y, Oya T, Hasegawa K, and Minami A	整形外科

(様式 1 1)

2 論文発表等の実績

Mol Cancer Res	2006年7月	Adaptor molecule crk is required for sustained phosphorylation of grb2-associated binder 1 and hepatocyte growth factor-induced cell motility of human synovial	Watanabe T, Tsuda M, Makino Y, Ichihara S, Sawa H, Minami A, Mochizuki N, Nagashima K, and Yanaka S	整形外科
Am J Sports Med	2006年8月	Autologous osteochondral mosaicplasty for Capitellar osteochondritis dissecans in teenaged patients	Iwasaki N, Kato H, Ishikawa J, Saitoh S, and Minami A	整形外科
J Arthroplasty	2006年8月	Cementless total hip arthroplasty using the modular S-ROM prosthesis combined with corrective proximal femoral osteotomy	Onodera S, Majima T, Ito H, Matsuno T, Kashimoto T, and Minami A	整形外科
J Neurosurg Spine	2006年8月	Biomechanical study on the effect of five different lumbar reconstruction techniques on adjacent -level intradiscal pressure and lamina strain	Sudo H, Oda I, Abumi K, Ito M, Kotani Y, and Minami A	整形外科
Nippon Rinsho 64 (9) :1670-5	2006年9月	Surgical treatment for osteoporotic spinal fractures in the thoraco-lumbar spine	Ito M	整形外科
日本臨床バイオメカニクス学会誌, 27:77-82	2006年10月	線維芽細胞を用いた腱・靭帯再生におけるメカニカルストレスの効果	沢口直弘	整形外科
Eur Spine J	2006年10月	Multidirectional flexibility analysis of anterior and posterior lumbar artificial disc reconstruction: in vivo human cadaveric spine model	Kotani Y, Cunningham B W, Abumi K, Dmitriev A. E., Hu N, Ito M, Shikunami Y, McAfee P. C., and Minami A	整形外科
J Bone Joint Surg [Br]	2006年10月	Inverted V-shaped high tibial osteotomy compared with closing-wedge high tibial osteotomy for osteoarthritis of the knee: Ten-year follow-up result	Aoki Y, Yasuda K, Mikami S, Ohmoto H, Majima T and Minami A	整形外科
J Neurosurg Spine	2006年10月	Long-term follow up of surgical outcomes in patients with cervical disorders undergoing hemodialysis	Sudo H, Ito M, Abumi K, Kotani Y, Takeuchi T, Yasui K, and Minami A	整形外科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	2006年11月	The effect of intraosseous graft length on tendon-bone healing in anterior cruciate ligament reconstruction using flexor tendon	Yamazaki S, Yasuda K, Tomita F, Minami A, and Tohyama H	整形外科

(様式11)

2 論文発表等の実績

Biomacromolecules	2006年11月	Specific cell behavior of human fibroblast onto carbohydrate surface detected by glycoblotting films	Onodera T, Niikura K, Iwasaki N, Nagahori N, Shimaoka H, Kamitani R, Majima T, Minami A, and Nishimura SI	整形外科
Spine 15;32 (2) :200-6	2007年1月	Clinical outcome of posterolateral endoscopic surgery for pyogenic spondylodiscitis: results of 15 patients with serious comorbid conditions	Ito M	整形外科
Biochem Biophys Res Commun	2007年2月	Activity-dependent regulation of BRIN0 family genes	Motomiya M, Kobayashi M, Iwasaki N, Minami A, and Matsuoka I	整形外科
Matrix Biology, 26:42-53	2007年1月	The Role of Osteopontin in Tendon Tissue Remodeling after Denervation-Induced Mechanical Stress Deprivation	森 律明	整形外科
Medicina 43 (3) :468-70	2006年3月	腎・尿路疾患の診断と治療. 腎癌	原林 透	泌尿器科
Japanese journal of endourology and ESWL. 19:109-13	2006年4月	導入期における腹腔鏡下前立腺全摘除術の成績—開放手術に優るか？	原林 透	泌尿器科
Journal of urology. 175:994-8	2006年3月	Brain activation during detrusor overactivity in patients with Parkinson's disease: a positron emission tomography study	Kitta T	泌尿器科
腎移植・血管外科. 17 (2) :153-9	2006年7月	カルシニューリン阻害剤離脱療法	森田 研	泌尿器科
臨床透析. 22 (10) :1401-8	2006年10月	透析再導入後に二次腎移植を考える場合の問題	森田 研	泌尿器科
Knee Surgery, Sports Traumatology Arthroscopy 14: 373-378	2006年4月	Stabilizing effects of ankle bracing under a combination of inversion and axial compression loading	Tohyama H	スポーツ医学診療科

(様式 1 1)

2 論文発表等の実績

J Biomechanics 39: 2566-2572	2006年10月	Effects of administration of transforming growth factor (TGF) beta-1 and anti-TGF-beta1 antibody on mechanical properties of the stress-shielded patellar tendon.	Yasuda K	スポーツ医学診療科
J Bone Min Res, 21, 876-885	2006年6月	Transgenic Mice Overexpressing Macrophage Migration Inhibitory Factor (MIF) Exhibit High-Turnover Osteoporosis	Onodera S	スポーツ医学診療科
J Bone Joint Surg [Br] 88-B:1336-1340	2006年10月	Comparisons of 10-year follow-up results after high tibial osteotomy between the closed wedge procedure and the inverted V-shape procedure	Yasuda K	スポーツ医学診療科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 14:804-810	2006年9月	Expression of vascular endothelial growth factor and angiogenesis in patellar tendon grafts in the early phase after anterior cruciate ligament reconstruction	Yasuda K	スポーツ医学診療科
J Strength Cond Res, 20: 804-810	2006年11月	Acute effect of static stretching on power output during concentric dynamic constant external resistance leg extension,	Yasuda K	スポーツ医学診療科
Jpn J Phys Fitness Sports Med, 55 Suppl: 109-112	2006年10月	Acute static stretching reduces power output during isotonic muscle action	Yasuda K	スポーツ医学診療科
Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy 14: 1086-1093	2006年11月	The effect of intraosseous graft length on tendon-bone healing in anterior cruciate ligament reconstruction using flexor tendon	Yasuda K	スポーツ医学診療科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 14: 1270-1277	2006年12月	Is the increase in type III collagen of the patellar tendon graft after ligament reconstruction really caused by 'ligamentization' of the graft?	Tohyama H	スポーツ医学診療科
J Biomed Mater Res, 81A(2): 373-380	2006年5月	Biodegradation of high-toughness double network hydrogels as potential materials for artificial cartilage	Yasuda K	スポーツ医学診療科
Am J Sports Med. 34:1918-1925	2006年12月	Effects of local administration of vascular endothelial growth factor on mechanical characteristics of the semitendinosus tendon graft after anterior cruciate ligament reconstruction in sheep	Yasuda K	スポーツ医学診療科

(様式 1 1)

2 論文発表等の実績

Arthritis Rheum 56, 521-530	2007年2月	A novel DNA vaccine targeting macrophage migration inhibitory factor protects joints from inflammation and destruction in murine models of arthritis	Onodera S	スポーツ医学診療科
Clinical Biomechanics 22: 120-126	2007年1月	Ex vivo infiltration of fibroblasts into the tendon deteriorates the mechanical properties of tendon fascicles but not those of tendon bundles	Yasuda K	スポーツ医学診療科
Biomed Mater Eng. 17: 77-85	2007年1月	The tensile properties of collagen fascicles harvested from regenerated and residual tissues in the patellar tendon after removal of the central third	Yasuda K	スポーツ医学診療科
ICUとCCU 30:307-312	2006年4月	HELLP症候群の治療体験	澤村 淳	先進急性期医療センター
Exp Biol Med (Maxwood) 231:1182-	2006年6月	Altered expression of endothelin, vascular endothelial growth factor, and its receptor in hepatic issue in endotoxemic rat	丸藤 哲	先進急性期医療センター
ASAIO Journal, 52:398-463	2006年8月	Pharmacokinetics and the most suitable dosing regimen of panipenem/betamipron in critically: a pilot study	丸藤 哲	先進急性期医療センター
日本集中治療医学会雑誌 13:451-4	2006年10月	ヒトヘルペスウイルス感染が原因と考えられた急性壊死性脳症の1例	早川峰司	先進急性期医療センター
PEPTIDES 27:2258-2270	2006年11月	Time-dependent expression of renal vaso-regulatory molecules in LPS-induced endotoxemia in rat	丸藤 哲	先進急性期医療センター
Am J Hematol 81:907-914	2006年12月	First day dynamic changes in antithrombinIII activity after supplementation have a predictive value in critically ill patients	丸藤 哲	先進急性期医療センター
Thromb Haemost 96:830-838	2006年12月	Chronological expression of PAR isoforms in acute liver injury and its amelioration by PAR2 blockade in a rat model of sepsis	丸藤 哲	先進急性期医療センター

(様式11)

2 論文発表等の実績

Thromb Res 120:87-93	2007年1月	An alternative pathway for fibrinolysis is activated in patients who have undergone cardiopulmonary bypass surgery and major abdominal surgery	丸藤 哲	先進急性期医療センター
日本救急医学会会誌 18:169-78	2007年5月	救急医療施設における頭部外傷後高次脳機能障害の問題点	早川峰司	先進急性期医療センター
神経治療学	2006年7月	Lambert-Eaton筋無力症候群3例に対する3, 4-diaminopyridine治療経験	矢部一郎	神経内科
Arerugi. 55 (7) :791-3	2006年7月	Diagnosis and Treatment of Allergic Conjunctival Disease.	Goda C	眼科
Mol Vis. 20 (12) :1601-5	2006年10月	Tyrosinase gene family and Vogt-Koyanagi-Harada disease in Japanese patients	Horie Y	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 244 (4) :433-7	2006年8月	Usefulness of quantifying serum KL-6 levels in the follow-up of uveitic patients with sarcoidosis	Kitaichi N	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 244 (7) :825-8	2006年7月	Increase in macrophage migration inhibitory factor levels in lacrimal fluid of patients with severe atopic dermatitis	Kitaichi N	眼科
Immunobiology. 212 (1) :11-8	2007年3月	Association of heat shock protein 70 induction and the amelioration of experimental autoimmune uveoretinitis in mice	Kitamei H	眼科
J Clin Apher. 21 (2) :121-8	2006年7月	Granulocytapheresis in patients with refractory ocular Behcet's disease	Namba K	眼科
Jpn J Ophthalmol. 50 (6) :564-6	2006年11月	Pseudomonas scleral abscess following pars plana vitrectomy	Saito W	眼科



(様式11)

2 論文発表等の実績

Jpn J Ophthalmol. 50(6):558-61	2006年11月	Chronic panuveitis and scleritis in a patient with cryptogenic organizing pneumonia	Saito W	眼科
臨床眼科. 61巻2号:251-255	2007年2月	日本人のアレルギー性結膜炎に対する0.1%塩酸オロパタジン点眼液の有効性と使用感の検討 0.025%塩酸レボカバステチン点眼液との比較	大野重昭	眼科
日本眼科学会雑誌. 111巻1号:5-10	2007年1月	ヒトアデノウイルス結膜炎におけるDNAコピー数の測定および血清型同定の臨床的意義	大口剛司	眼科
Laryngoscope 116(4): 547-553	2006年4月	Helicobacter pylori seropositivity predicts outcomes of acid suppression therapy for laryngopharyngeal reflux symptoms	折館伸彦	耳鼻咽喉科
Int J Mol Med 18(5): 829-936	2006年11月	Natural killer T cells ameliorate antibody-induced arthritis in macrophage migration inhibitory factor transgenic mice	高木 大	耳鼻咽喉科
Proteomics 6(23): 6300-6316	2006年12月	Protein clusters associated with carcinogenesis, histological differentiation and nodal metastasis in esophageal cancer	畠山博充	耳鼻咽喉科
Int J Clin Oncol 11(6): 441-448	2006年12月	"Watch-and-see" policy for the clinically positive neck in head and neck cancer treated with chemoradiotherapy	本間明宏	耳鼻咽喉科
頭頸部癌 32(5): 87-92	2006年4月	北海道大学病院における超選択的動注療法+照射の同時併用療法の治療成績	本間明宏	耳鼻咽喉科
耳喉頭頸 78(5): 15	2006年4月	<総説>耳鼻咽喉科・頭頸部外科 症候群事典 Aarskog syndrome	福田 諭	耳鼻咽喉科
耳喉頭頸 78(5): 17	2006年4月	<総説>耳鼻咽喉科・頭頸部外科 症候群事典 Addison disease (原発性副腎機能低下症)	福田 諭	耳鼻咽喉科

(様式11)

2 論文発表等の実績

耳喉頭頸 78(5): 18	2006年4月	<総説>耳鼻咽喉科・頭頸部外科 症候群事典 Alagille syndrome	福田 論	耳鼻咽喉科
日耳鼻 109(5): 455-460	2006年5月	シラカンバ花粉飛散予測式の前向き検討および各変数の評価—資源適合仮説 (The resource budget model) に基づいて	前田昌紀	耳鼻咽喉科
日耳鼻 109(5): 433-439	2006年5月	当科における嗅神経芽細胞腫の治療経験	加納里志	耳鼻咽喉科
気食 57(3): 262-267	2006年6月	咽喉頭酸逆流症状に対する酸抑制治療の効果とHelicobacter pylori感染との関連	折館伸彦	耳鼻咽喉科
ENTONI 63: 35-39	2006年6月	<総説>逆流に伴う喉頭肉芽腫の診断と治療	折館伸彦	耳鼻咽喉科
口咽科18(3): 407-413	2006年6月	下咽頭癌に対する超選択的動注療法と放射線同時併用療法の検討	古沢 純	耳鼻咽喉科
頭頸部外科16(7): 21-26	2006年6月	<総説>鼻副鼻腔内反性乳頭腫における手術アプローチの選択	古田 康	耳鼻咽喉科
臨床腫瘍プラクティス2(3): 286-289	2006年8月	<総説>発声機能の喪失と対策—喉頭がん	古田 康	耳鼻咽喉科
臨床腫瘍プラクティス 2(3): 268-270	2006年8月	頭頸部がん患者診療のポイント. 放射線療法の適応 手術+放射線療法	折館伸彦	耳鼻咽喉科
臨床腫瘍プラクティス 2(3): 280-285	2006年8月	特集 頭頸部がん患者診療のポイント 5. 化学療法の実際とポイント 2) 超選択的動注化学療法	鈴木章之	耳鼻咽喉科

(様式11)

2 論文発表等の実績

耳鼻 52(3): 213-219	2006年9月	鼻副鼻腔癌に対する超選択的動注療法+照射の同時併用療法	本間明宏	耳鼻咽喉科
JOHNS 22(9): 1338-1342	2006年9月	<総説>特集 3次元画像の実際 ナビゲーションシステム 耳鼻科領域	福田 諭	耳鼻咽喉科
耳展 49(5): 310-312	2006年10月	上顎全摘術におけるナビゲーションシステムの有用性について	本間明宏	耳鼻咽喉科
日耳鼻 109(10): 754-758	2006年10月	耳鼻咽喉科・頭頸部外科の救急医療—呼吸困難—	福田 諭	耳鼻咽喉科
小児外科 38(11): 1366-1371	2006年11月	<総説>小児の耳鼻咽喉頭・頭頸部疾患—診断と治療 頭頸部良性腫瘍	福田 諭	耳鼻咽喉科
JOHNS 22(12): 1749-1752	2006年12月	「ここまでわかった遺伝子異常」鼻科領域 Wegener肉芽腫症	福田 諭	耳鼻咽喉科
Facial N Res Jpn 26: 17-19	2006年12月	病因の検索と診断.	古田 康	耳鼻咽喉科
日耳鼻 110(2): 76-81	2007年2月	ウイルスによる難聴	福田 諭	耳鼻咽喉科
耳展 50(1): 8-18	2007年2月	<総説>頭頸部癌に関する最近の動向	福田 諭	耳鼻咽喉科
耳鼻 53(2): 116-120	2007年3月	咽喉頭逆流症に対する酸抑制治療の自覚症状スコアによる評価の有用性と問題点	折館伸彦	耳鼻咽喉科

(様式11)

2 論文発表等の実績

Nature Medicine Vol. 3, No. 13, Page 378-383	2007年3月	Humanization of autoantigen.	Sawamura D	皮膚科
The American Journal of Pathology Vol. 171, No. 1, Page 43-52	2007年1月	Expression of the Keratinocyte Lipid Transporter ABCA12 in Developing and Reconstituted Human Epidermis.	Akiyama M	皮膚科
Journal of Allergy and Clinical Immunology, Vol. 119, No. 2, Page 434-440	2007年2月	Unique mutations in the filaggrin gene in Japanese patients with ichthyosis vulgaris and atopic dermatitis.	Akiyama M	皮膚科
The American Journal of Pathology Vol. 169, No. 2, Page 416-423	2006年8月	A novel N14Y mutation in Connexin26 in keratitis-ichthyosis-deafness syndrome: analyses of altered gap junctional communication and molecular structure of N terminus of mutated Connexin26.	Akiyama M	皮膚科
Stem Cells Vol. 24, No. 12, Page 2810-2816	2006年8月	CTACK/CCL27 accelerates skin regeneration via accumulation of bone marrow-derived keratinocytes.	Abe R	皮膚科
International Journal of Psychiatry in Medicine, 36 (2) : 231-241	2006年4月	Assessment of depressive symptoms in Japanese school children and adolescents using the Birleson depression self-rating scale	Denda K (傳田健三)	精神科神経科
臨床精神薬理, 9 (4) : 780-790	2006年4月	小児・思春期のうつ病の疫学・診断・治療ー抗うつ薬の18歳未満 への投与の問題を踏まえてー	傳田健三	精神科神経科
精神科治療学, 21 (4) : 355-362	2006年4月	子どものうつ病と大人のうつ病	傳田健三	精神科神経科
児童青年精神医学とその近接領 域, 47 (2) : 147-153	2006年4月	子どもの強迫性障害とうつ病性障害	傳田健三	精神科神経科
精神神経学雑誌, 108 (7) : 742- 747	2006年7月	小児の摂食障害ー治療の実際と問題点ー	傳田健三	精神科神経科

(様式11)

2 論文発表等の実績

日本小児科学会雑誌, 110(9): 1201-1207	2006年9月	子どものうつ病—その心に何が起きているのか—	傳田健三	精神科神経科
心療内科, 11(2): 84-91	2007年2月	小児のうつ病	傳田健三	精神科神経科
Prog. NeuroPsychopharmacol. & Biol. Psychiatry 31(1): 136-141	2007年1月	Effects of calmodulin and protein kinase C modulators on transient Ca <sup>2+</sup> increase and capacitative Ca <sup>2+</sup> entry in human platelets: relevant to pathophysiology of bipolar disorder	Kusumi I et al.	精神科神経科
Eur J Pharmacol 540(1-3): 91-95, 2006.	2006年7月	Effect of combined treatment with noradrenaline and serotonin reuptake inhibitors on conditioned freezing.	井上 猛	精神科神経科
J Affect Disord 95(1-3): 61-67, 2006.	2006年8月	Long-term outcome of antidepressant-refractory depression: The relevance of unrecognized bipolarity.	井上 猛	精神科神経科
Eur Neuropsychopharmacol. (online)	2007年3月	Synergistic effects of tandospirone and selective serotonin reuptake inhibitors on the contextual conditioned fear stress response in	井上 猛	精神科神経科
Stroke	2007年5月	Radiological findings, clinical course, and outcome in asymptomatic moyamoya disease: results of multicenter survey in Japan.	Kuroda S	神経外科
J Neurotrauma	2006年11月	Bone marrow stromal cell transplantation preserves gammaaminobutyric acid receptor function in the injured spinal cord.	Yano S	神経外科
Surg Neurol	2006年9月	How does spontaneous hemostasis occur in ruptured cerebral aneurysms? Preliminary investigation on 247 clipping surgeries.	Ishikawa T	神経外科
Brain Res	2006年9月	Susceptibility of brain microvascular endothelial cells to advanced glycation end products-induced tissue factor upregulation is associated with intracellular reactive oxygen species.	Kuroda S	神経外科

Brain Res	2006年5月	The effects of neuronal induction on gene expression profile in bone marrow stromal cells (BMSC)--a preliminary study using microarray analysis.	Kurada S	神経外科
Brain injury 20巻9号:991-996	2006年8月	Measurement of transcallosal inhibition in traumatic brain injury by transcranial magnetic stimulation	生駒一憲	リハビリテーション科
Journal of Clinical Neuroscience 13巻9号:817-822	2006年11月	Correlations between neuropsychological test results and P300 latency during silent-count and button-press tasks in post-traumatic brain injury patients	生駒一憲	リハビリテーション科
Biomed Mater Eng. 17 (2): 77-85.	2007年2月	The tensile properties of collagen fascicles harvested from regenerated and residual tissues in the patellar tendon after removal of the central third.	遠山晴一	リハビリテーション科
Arthritis Rheum. 56 (2): 521-30.	2007年2月	A novel DNA vaccine targeting macrophage migration inhibitory factor protects joints from inflammation and destruction in murine models of arthritis.	遠山晴一	リハビリテーション科
Clin Biomech (Bristol, Avon). 22 (1): 120-6.	2007年1月	Ex vivo infiltration of fibroblasts into the tendon deteriorates the mechanical properties of tendon fascicles but not those of tendon bundles.	遠山晴一	リハビリテーション科
Am J Sports Med. 34 (12): 1918-25.	2006年12月	Effects of local administration of vascular endothelial growth factor on mechanical characteristics of the semitendinosus tendon graft after anterior cruciate	遠山晴一	リハビリテーション科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 14 (12): 1270-7.	2006年12月	Is the increase in type III collagen of the patellar tendon graft after ligament reconstruction really caused by "ligamentization" of the graft?	遠山晴一	リハビリテーション科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 14 (11): 1086-93.	2006年11月	The effect of intraosseous graft length on tendon-bone healing in anterior cruciate ligament reconstruction using flexor tendon.	遠山晴一	リハビリテーション科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 14 (9): 804-10.	2006年9月	Expression of vascular endothelial growth factor and angiogenesis in patellar tendon grafts in the early phase after anterior cruciate ligament reconstruction.	遠山晴一	リハビリテーション科

(様式11)

2 論文発表等の実績

J Bone Miner Res. 21 (6) :876-85.	2006年6月	Transgenic mice overexpressing macrophage migration inhibitory factor (MIF) exhibit high-turnover osteoporosis.	遠山晴一	リハビリテーション部
Fetal Diag Ther 21: 343-347	2006年7月	Prenatal diagnosis and therapy of persistent cloaca: a case report.	Morikawa M	産科・周産母子センター
Obstet Gynecol 108: 751-753	2006年9月	Effect of gonadotropin-releasing hormone agonist on a uterine arteriovenous malformation.	Morikawa M	産科・周産母子センター
J Perinat Med 34: 392-397	2006年10月	Coagulation-fibrinolysis is more enhanced in twin than in singleton pregnancies.	Morikawa M	産科・周産母子センター
J Med Virol 78, 1091-5.	2006年8月	Detection of antibodies against human metapneumovirus by Western blot using recombinant nucleocapsid and matrix proteins.	Ishiguro, N. et al.	感染制御部 (小児科)
Res. Adv. in Microbiology 6, 11-21.	2006年	A single base mutation in an internal ribosome entry site of Epstein-Barr virus nuclear antigen 1 mRNA and Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative diseases.	Endo R., Ebihara T., Ishiguro N. et	感染制御部 (小児科)
Hybridoma (Larchmt). 26 (1) :17-21.	2007年2月	Development of a rapid chromatographic immunoassay for detection of human metapneumovirus using monoclonal antibodies against nucleoprotein of hMPV.	Kikuta H., Ebihara T., Endo R.,	感染制御部 (小児科)
Int. J. Radiation Oncology Biol. Phys.	2006年	Integral radiation dose to normal structures with conformal external beam radiation.	青山英史	放射線科
JAMA	2006年	Stereotactic Radiosurgery Plus Whole-Brain Radiation Therapy vs Stereotactic Radiosurgery Alone for Treatment of Brain Metastases: A Randomized Controlled Trial.	青山英史	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys.	2007年8月	neurocognitive function of patients with brain metastasis who received either whole brain radiotherapy plus stereotactic radiosurgery or radiosurgery alone.	青山英史	放射線科

(様式11)

2 論文発表等の実績

Eur J Nucl Med Mol Imaging 33(7):817-22	2006年7月	Loss of neuronal integrity: a cause of hypometabolism in patients with traumatic brain injury without MRI abnormality in the chronic atage.	Shiga T	核医学診療科
J Nucl Med 47(12):1914-1920	2006年12月	Smoking cessation normalizes coronary endothelial vasomotor response assessed with <sup>15</sup> O-Water and PET in healthy young smokers.	Morita K	核医学診療科
Circ J 71(3):348-353	2007年3月	Elevated Plasminogen Activator Inhibitor Type-1 is an Independent Predictor of Coronary Microvascular Dysfunction in Hypertention.	Naya M	核医学診療科
日本歯科保存学会雑誌, 49(2) : 282-287	2006年 4月	根尖切除術時に4-META /MMA-TBBレジンでroot-end-sealingした場合の根尖性歯周炎の治癒.	菅谷 勉	保存系歯科
J Periodont Res, 41 (4) : 311 -315	2006年 8月	Dentin resorption and cementum-like tissue formation by bone morphogenetic protein application.	宮治裕史	保存系歯科
北海道歯学雑誌, 27(2) : 159- 171	2006年12月	セメント象牙境の構造と機能に関する組織学的および免疫組織化学的研究.	川浪雅光	保存系歯科
北海道歯学雑誌, 27(2) : 201- 210	2006年12月	ヒト歯肉由来線維芽細胞におよぼす高濃度ニフェジピンの影響.	小田島朝臣	保存系歯科
日本歯周病学会会誌, 48(4) : 255-266	2006年12月	BMP-2とコラーゲンハイドロゲルの歯根象牙質表面への塗布による歯周組織再生.	宮治裕史	保存系歯科
日本歯周病学会会誌, 48(4) : 285-296	2006年12月	BMP-2処理した象牙質表面におけるセメント質様硬組織形成のビスフォスフォネートによる抑制.	宮治裕史	保存系歯科
J Biomed Mater Res Part B : Appl Biomater, 80B : 140-145	2007年 1月	Hybrid Layer Seals the Cementum/4-META/MMA-TBB Resin Interface.	田中佐織	保存系歯科



(様式11)

2 論文発表等の実績

日本歯科保存学会雑誌, 50(1): 62-67	2007年 2月	動画を用いたHTMLアトラスによる歯周外科手術シミュレーション教育の効率化.	菅谷 勉	保存系歯科
Journal of Dental Research 85(4): 349-353	2006年4月	Development of a self-etch adhesive for resin-modified glass-ionomers.	Inoue Satoshi 他8名	咬合系歯科
Operative Dentistry 31(4): 456-465	2006年7月	Effect of water storage on the bonding effectiveness of 6 adhesives to class I cavity dentin.	Inoue Satoshi 他8名	咬合系歯科
接着歯学 24(2): 83-87	2006年8月	光照射直後におけるボンディング材の引張り強さ.	井上 哲 他3名	咬合系歯科
Journal of Dentistry 35(1): 74-83	2007年1月	NaOCl degradation of a HEMA-free all-in-one adhesive bonded to enamel and dentin following two air-blowing techniques.	Inoue Satoshi 他7名	咬合系歯科
日本歯科医学教育学会雑誌 22: 257-263	2006年12月	本学歯学部における「学生による臨床実習評価」の解析	根岸 淳 他7名	咬合系歯科
日顎変形誌, 16(1), p1-7	2006年4月	骨格性下顎前突症患者の側貌の変化—下顎枝矢状分割術と矯正治療との比較—	飯田順一郎	咬合系歯科
北海道歯誌, 27(1), p33-40	2006年5月	最大口唇閉鎖圧に対する上下口唇間距離の影響	飯田順一郎	咬合系歯科
北海道歯誌, 27(2), p130-138	2006年11月	ラット口蓋における瘢痕組織形成に対するGa-AlAs半導体レーザーの影響	飯田順一郎	咬合系歯科
北海道歯誌, 27(2), p171-189	2006年11月	機械的刺激による微小血管系の反応における加齢変化	飯田順一郎	咬合系歯科

(様式11)

2 論文発表等の実績

北海道矯正歯科学会雑誌, 34	2006年12月	叢生発症率の経年変化を探る－歯冠幅径と顎骨の大きさの経年変化について－	飯田順一郎	咬合系歯科
Orthodontic Waves, 65 (4), p166-172	2006年12月	Histological and histochemical study of the spheno-occipital synchondrosis of the cranial base on BALB/c-bm/bm mouse	飯田順一郎	咬合系歯科
Histological study. American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics	2007年	Growth and development of the cranial base of BALB/c-bm/bm mouse that spontaneously induces anterior transverse crossbite: Histological study	飯田順一郎	咬合系歯科
Archives of Oral Biology	2007年1月	Establishment of cell lines that exhibit pluripotency from miniature swine periodontal ligaments	飯田順一郎	咬合系歯科
Neuroscience	2007年3月	Cerebral activation related to the control of mastication during changes in food hardness	高橋敏幸	咬合系歯科
Dental Materials Journal	2007年3月	Carbon nanotubes as scaffolds for cell culture and effect on cellular function	横山敦郎	咬合系歯科
Chemistry Letters	2006年6月	Strikingly extended morphology of cells grown on carbon nanotubes	横山敦郎	咬合系歯科
Dental Materials Journal	2007年3月	X-ray absorption fine structure (XAFS) analysis of titanium-implanted soft tissue	横山敦郎	咬合系歯科
Oral Dis 12 415-419	2006年	Influence of administration methods on the accumulation of ALA-induced Pp-IX in mouse tongue tumors.	Kitagawa, Y et al	口腔系歯科
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral R 101 e101-105	2006年	Occult fractures of articular eminence and glenoid fossa presenting as temporomandibular disorder: a case report.	Kitagawa, Y et al	口腔系歯科

(様式11)

2 論文発表等の実績

Dentomaxillofacial Radiology 36 113-116	2007年	CT and MRI findings of the intraosseous Schwannoma of the mandible: a case report	Kitagawa, Y et al	口腔系歯科
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral R 104 67-71	2007年3月	Remarkable response of juvenile diffuse sclerosing osteomyelitis of mandible to pamidronate.	Yamazaki, Y et al	口腔系歯科
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral R 101 463-468	2006年4月	Electrophoretic separation of the synovial fluid proteins in patients with temporomandibular joint disorders.	Sato, J et al	口腔系歯科
J Oral Maxillofac. Surg 65 242-247	2007年2月	Prognostic factors in arthrocentesis of the temporomandibular joint: comparison of bradykinin, leukotriene B4, prostaglandin E2 and substance P level in synovial fluid between successful and unsuccessful cases.	Sato, J et al	口腔系歯科
Oral Oncol 43 455-462	2007年	Gene expression signatures that can discriminate oral leukoplakia subtypes and squamous cell carcinoma	Kitagawa, Y et al	口腔系歯科
日本臨床別冊日本臨床「内分泌症候群Ⅲ」 565-570	2006年	自己免疫性内分泌症候群（1型、2型、3型、4型）	清水 力	検査・輸血部
最新医学別冊「新しい診断と治療のABC 4 3 / 内分泌 3 機能性下垂体腫瘍」 105-112	2006年	先端巨大症の薬物療法	清水 力	検査・輸血部
糖尿病の療養指導 2007 196-200	2006年	内分泌疾患と耐糖能異常	清水 力	検査・輸血部
J Cutan Pathol, 33:492~7, 2006	2006年7月	Usefulness of D2-40 immunohistochemistry for differentiation between kaposiform hemangioendothelioma and tufted angioma.	伊藤智雄	病理部
Cancer Res, 66:9408~19, 2006	2006年10月	The neuromedin u-growth hormone secretagogue receptor 1b/neurotensin receptor 1 oncogenic signaling pathway as a therapeutic target for lung cancer.	伊藤智雄	病理部

(様式11)

2 論文発表等の実績

Mol Cancer Ther, 6:542~51, 2007	2007年2月	Identification of Myc-associated protein with JmjC domain as a novel therapeutic target oncogene for lung cancer.	伊藤智雄	病理部
検査と技術, 34:831~835, 2006	2006年9月	病理検査における縦列型反復配列(short tandem repeat)解析を用いた個人識別解析法	伊藤智雄	病理部
日本病院薬剤師会雑誌 42巻7号 927-929頁	2006年7月	患者の健康食品摂取状況および意識調査と健康食品データベース構築	久保田康生	薬剤部
TDM研究 23巻4号253-256頁	2006年10月	神経因性疼痛に対する酢酸フレカイニドの鎮痛効果と血中濃度の関係	山崎浩二郎	薬剤部
European Journal of Pharmacology 557巻1号1-8頁	2007年1月	Ribavirin uptake by cultured human choriocarcinoma (BeWo) cells and Xenopus laevis oocytes expressing recombinant plasma membrane human nucleoside transporters	菅原 満	薬剤部
医療薬学 33巻2号152-158頁	2007年2月	外来化学療法における服薬指導の充実のための病棟-外来間連携ツールの構築	久保田康生	薬剤部
Biological Pharmaceutical Bulletin 30巻3号537-542頁	2007年3月	Evaluation of effects of polymorphism for metabolic enzymes on pharmacokinetics of carvedilol by population pharmacokinetic analysis	菅原 満	薬剤部

計 257

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 浅 香 正 博		
管理担当者氏名	総務課長 菅 原 豊 彦 薬剤部長 井 関 健	医事課長	大日向 孝 治
		保 管 場 所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		各 診 療 科  診療録管理室	・病歴資料については、各診療科毎に作成、保管管理（一診療科一診療録） ・処方せんについては、薬剤部において保管管理 ・エックス線写真については、各診療科において保管管理 なお、平成12年10月1日以降退院する患者に係る入院診療録（看護記録、サリ-を含む）及び外来診療録の一部は、診療録管理室にて保管管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総 務 課	
	高度の医療の提供の実績	医 事 課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医 事 課	
	高度の医療の研修の実績	総 務 課	
	閲覧実績	総 務 課、 医 事 課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医 事 課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医 事 課及び 薬 剤 部	
法規制則 第9 の条 状 況 2 3 及 び 第 1 1 条 各 号 に 掲 げ る	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総 務 課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総 務 課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総 務 課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医 事 課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		

(注) 1 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 浅香正博
閲覧担当者氏名	総務課長 菅原豊彦
閲覧の求めに応じる場所	会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	64.2%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,916人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	6,007人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	623人	
	D: 初診の患者の数	26,004人	

## 規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	㊥ ( 4 名 ) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	㊥ ( 2 名 ) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	㊥ ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員：専任 ( 4 ) 名 兼任 ( 19 ) 名</li> <li>・ 活動の内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療の質向上に向けた対策の検討、実施</li> <li>・ 医療事故防止に関する対策の実施</li> <li>・ インシデント報告書等の管理及び分析</li> <li>・ 医療安全に関する職員研修の企画・実施</li> <li>・ リスクマネジメントに関する委員会の調整・連携機能</li> </ul> </li> </ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	㊥ ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊥ ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <p>「患者さんのための医療の提供」、「チーム医療の推進」を目指し、職域の枠を超えた安全な医療、診療科・部署を超えた組織横断的な医療を提供する。そのために、組織的知の共有として組織的学習メカニズムを図り、スタッフ参画・現場主導の安全管理体制とともに現場支援体制の確立を図る。 ・ 患者参加型の医療安全を推進する</p> </li> </ul>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	18年度 12 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療事故防止対策の検討及び推進に関すること</li> <li>・ 医療事故等の対応及び原因究明に関すること</li> <li>・ 医療事故等の情報収集及び分析に関すること</li> <li>・ 医療事故防止に関する職員の教育・研修に関すること</li> </ul> </li> </ul>	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	18年度457回 (主共催36回、診療科421回)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演「診療科長・部長が語るリスクマネジメントシリーズ」</li> <li>・ 研修「北大病院の医療安全管理体制と事故防止対策」</li> <li>・ 研修「北海道大学病院における医療安全管理・報告体制・重大事例発生時の対応」</li> <li>・ 講演「北海道大学病院のリスクマネジメント」</li> <li>・ 研修「インシデント事例分析と技法」</li> <li>・ 講習会「人工呼吸器安全管理講習会1」(3回で1クール)</li> <li>・ 研修「救急シミュレーション」</li> <li>・ 講演「安全管理と院内感染対策～MRSA訴訟からの教訓～」</li> <li>・ 「医療安全週間の医療安全推進ポスター・標語募集」</li> <li>・ 院内BLS/AED講習会</li> <li>・ 研修「事務職員向け 院内救急体制について」</li> <li>・ 講演「個人情報保護について」</li> <li>・ 診療科・部署における研修・研修医が医療事故を防ぐための法律知識</li> </ul> </li> </ul>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( ㊥ ・ 無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療安全管理マニュアルの項目追加、改訂 各診療科・部署マニュアルの共通マニュアルとの整合性の点検及び改訂、ガーゼ遺残防止対策、診療科連携、共通病床ルール、離院・離棟防止の改訂(独居患者対応)、化学療法におけるIC、セカンドオピニオン対応の診療情報提供</li> <li>・ 各種ガイドラインの作成、改訂 抗凝固・抗血小板療法施行時における出血性合併症および抜歯・手術時の対応、危険性の高い薬剤の取り扱い改訂、穿刺・採血による神経麻痺の対応ガイドライン改訂</li> <li>・ ポケット版医療安全管理マニュアルの発行</li> <li>・ マニュアル内容の周知に関するアンケート調査の実施・分析、今後の課題の決定</li> <li>・ 人工呼吸器安全管理ワーキングの発足と院内定期点検、研修会の実施、職場単位の指導者の養成</li> <li>・ ガーゼ遺残防止ワーキングの発足と防止策作成と職種間連携の確立</li> <li>・ 診療科連携ルール策定ワーキングの発足とルールのための医療情報システムの機能追加</li> <li>・ 人工心肺安全管理専門委員会の設置</li> <li>・ 患者相談窓口との定期会議の開催</li> <li>・ 点眼薬と点鼻薬の処方選択間違いを防ぐための医療情報システム上の改造</li> <li>・ 入院患者の持参薬の薬剤師による管理の強化</li> <li>・ 年間インシデント集計・分析の実施と今後の課題の策定</li> <li>・ 歯科患者における特に循環器系疾患を持つ患者の診療についての課題と対応の検討</li> <li>・ 一次救命処置講習会の定期的実施、各診療科での救急処置シミュレーション実施</li> <li>・ 緊急時、急変時の診療記録の統一様式の作成 ・ 診療記録の診療科間相互チェック</li> <li>・ 説明・承諾書の充実と見直し</li> <li>・ ゼネラルリスクマネジャーによるセーフティーパトロールの実施</li> <li>・ 医療安全管理部員の強化(医師の増員、事務全課長の参加)</li> </ul> </li> </ul>	